

## 連 載

## 新興国ウォッチ！ &lt;第1回&gt;

## 為替制度(1)：各国の制度について

多田 忠義

## 「新興国ウォッチ！」執筆にあたって

近年、市場における存在感を増しつつある新興国・地域に着目し、多様な財政・金融制度をトピック形式で取り上げ、そのあり方を検討していきたい。最初は、為替制度に焦点を当て、新興国の特徴を紹介する。

本連載では、BRICS など急速な経済成長や工業化の進展により今後も成長が見込まれる国・地域を新興国（・地域）とする。

## 固定相場制と変動相場制

国同士でモノやサービスを売買するためには、異なる通貨を交換する割合（為替レート）を設定する必要がある。かつて、ある一定量の通貨と一定量の金とを交換する制度（金本位制度）に基づいて、通貨の両替が行われたが、第二次世界大戦以降、先進国では、米ドルを基軸とする国際通貨体制（金ドル本位制）が構築された経緯がある。

図表 1 は、東南アジアを含めた主な新興国・地域および先進国（G7）の為替制度をまとめたものである。為替制度は、固定相場制（自国と主要国との通貨交換率を一定に定める制度）、変動相場制の大きく2つに分けられる。後者は、原則として為替市場で需要と供給に基づき為替レートが決まる狭義の変動相場制と、金融当局が通貨バスケットなどによって基準為替レートを決め、一定の変動幅を設定する管理フロート制に分けられる。

## 多様な為替制度とその意義

G7 など先進国では、1970 年代以降変動相場制が採用されている一方で、新興国・地域では為替レートを管理しているところが少なくない。

新興国・地域では、外国からの投資受入れや製品等の輸出による外貨獲得が経済成長の原動力ととらえる向きが多く、一般に為替レートが安定する制度を採用しがちである。一方、自国・地域の実態を踏まえつつ経済成長する上で、固定相場制や管理フロート制、外貨準備の積み増しが必ずしも経済発展に寄与するとは限らない。

例えば、中国では通貨価値を安定化させるために外貨準備を膨張させてきたが、一方で金融緩和効果を生じさせ、インフレ、不動産バブル懸念を生んだ。そのため、近年より自由な変動相場制を採用しつつ、為替介入などの金融政策による対応や、資本移動の制限などによって、為替レートの安定化を図っている。

図表1 主な新興国・地域および先進国の為替制度と外貨準備高伸び率（執筆時点）

| 通貨名        | 区分       | 制度       | 外貨準備高の伸び率 |        |        |
|------------|----------|----------|-----------|--------|--------|
|            |          |          | 08-09年    | 09-10年 | 10-11年 |
| 香港ドル       | アジアNIEs  | 固定相場制    | 37.7      | 6.9    | 6.5    |
| 韓国ウォン      | アジアNIEs  | 変動相場制    | 31.9      | 9.9    | 4.7    |
| シンガポールドル   | ASEAN    | 管理フロート制* | 5.9       | 22.4   | 5.7    |
| タイバーツ      | ASEAN    | 管理フロート制  | 22.5      | 25.9   | 0.2    |
| インドネシアルピア  | ASEAN    | 変動相場制    | 25.9      | 48.8   | 15.0   |
| マレーシアリンギット | ASEAN    | 管理フロート制* | 2.9       | 11.9   | 26.1   |
| 中国人民元      | BRICS    | 管理フロート制* | 21.8      | 20.8   | 12.1   |
| ロシアルーブル    | BRICS    | 管理フロート制* | ▲ 0.6     | 8.4    | 2.7    |
| インドルピー     | BRICS    | 変動相場制    | 5.3       | 5.7    | ▲ 1.1  |
| ブラジルレアル    | BRICS    | 変動相場制    | 20.9      | 23.1   | 22.4   |
| 南アフリカランド   | BRICS    | 変動相場制    | 13.2      | 10.3   | 11.9   |
| カナダドル      | G7       | 変動相場制    | 21.7      | 7.0    | 15.5   |
| 米ドル        | G7       | 変動相場制    | 76.6      | 3.2    | 13.1   |
| 英ポンド       | G7       | 変動相場制    | 23.4      | 24.9   | 16.3   |
| ユーロ        | G7（ユーロ圏） | 変動相場制    | 27.0      | 8.1    | 5.8    |
| 日本円        | G7       | 変動相場制    | ▲ 0.5     | 5.7    | 18.9   |

（資料）（財）国際金融情報センター、（独）日本貿易振興機構、IMF International Financial Statisticsの情報を基に著者作成

（注）1 \*は、通貨バスケット制を採用。

2 タイの為替制度は実質的な変動相場制を採用している、と評価されている。